

参加費
無料

それぞれの治療共同体の 背景とその取り組み

治療共同体 (Therapeutic Community) は、個人の変化・成長を目的に、グループの力を用いた治療的環境としての「場」であり、その方法とされています。安全で民主的な環境において、既存の「当事者」「援助者」の関係性を超え共同体の一員として、個人そしてコミュニティの成長を目指します。

本シンポジウムでは、各領域での治療共同体の背景や理念、その取り組みを共有するなかで、日本における治療共同体の可能性について皆さんと一緒に考える機会を持ちたいと思います。

令和3年 **2.14** 日

時間 13:30~16:00

開催 zoom ミーティング
定員 80名



コーディネーター **藤岡淳子** 大阪大学

◆精神科医療と治療共同体

古賀恵里子 大阪経済大学

◆刑務所内治療共同体について

毛利真弓 同志社大学

◆アディクション治療共同体について

引土絵未 日本女子大学

ディスカッション・質疑応答・総括

申込方法：下記 URL か QR コードより申込みフォームにアクセスしてお申込みください。

<https://forms.gle/BqKRwXDyDuxkkmFb8>

後日、オンライン・シンポジウムの参加情報 (zoom ミーティング) をお送りいたします。

申込み期限は 2月7日(日) です。

問い合わせ先：^{ひきつち}引土絵未 E-mail: hikitsuchi@ncnp.go.jp

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部/日本女子大学

主催：治療共同体研究会

本シンポジウムは、令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究」により実施されています。

